

顧客登録1万3千人の健康を守り続ける靴インソール専門店を、 パーソナルジム経営者のご子息が事業引継ぎ 《第三者承継》

相談者 《譲渡側》 有限会社フットクリエイト 代表取締役 櫻井寿美さん(66歳)

《譲受側》 茨木遼さん(26歳)／柔道整復師

案件紹介協力 日本政策金融公庫 京都支店

相談者(譲渡側)の概要

▶(有)フットクリエイトは1996年設立。当時、フィットネスクラブに勤めていた寿美さんは自身の足のトラブルに悩まされていたが、靴、特にインソールの重要性に着目し、同じ悩みを抱える多くの人に楽しく歩ける身体を取り戻してほしいという思いから、自らインソールの設計から製造、調整を手掛けるオーダーメイドインソールの会社を立ち上げ、いくつになっても自分の足で元気に歩ける靴とインソールを提供してきた。夫の櫻井一男さんもインソールデザイナーとして二人三脚で顧客登録13,000人、実稼働約3,000人の顧客の要望に応じてきた。

支援相談の経緯

▶「100歳まで歩いてほしい！」お客様の健康づくりのお役に立ちたいという思いで走り続けて30年、一度は廃業を考えたが、多くの顧客に迷惑をお掛けしたくないという思いから2024年12月に日本政策金融公庫に事業譲渡に関する支援を申し込んだ。その後、公庫から支援連携関係にある京都府事業承継・引継ぎ支援センターに紹介され、当センターが支援に着手することとなった。



有限会社フットクリエイト

京都市下京区間之町通上珠数屋町下町打越町318



京都府事業承継・引継ぎ支援センター
サブマネージャー 高林 義郎

ひとこと

今回の案件は、30年に亘って2人3脚で地域の皆様の足の健康を守ってこられたご夫婦とパーソナルトレーニング（「からだ改善サポートwell-be」）事業を営む親子との株式譲渡・譲受案件です。譲受側は経営者である父・茨木克也氏の意向で柔道整復師の資格を持つ二男の遼氏を代表者とし、習得したオーダーメイドインソール技術でお客様の足の健康を靴（インソール）で支えていきたいという覚悟で引継ぎを決意されたものです。新たなステージのスタートです。是非お近くにお越しの際は店舗にお立ち寄りいただければ幸いです。

左から櫻井寿美さん、一男さん、茨木遼さん、克也さん
(フットクリエイト店舗にて)



譲受側事業者の選定と概要

▶複数の候補者の内、当初は(有)フットクリエイトとは交流があり、「からだ改善サポートwell-be」（パーソナルジム）の経営者である茨木克也さんが事業引継ぎに関心を示しておられたが、徐々にご子息で同社で柔道整復師として顧客の健康管理をサポートしてきた遼さんの方が、後継者に適任ではないかと考えるようになった。

▶2025年7月に事業譲渡の基本合意書を締結したが、それまでも週に数日(有)フットクリエイトに通い、オーダーメイドでインソールを製作し提供するスキルなどを学んできた。

当センターの事業譲渡に向けた支援

- ▶(有)フットクリエイトの企業概要書および基本合意書の作成
- ▶当センターに登録する外部専門家(弁護士)による株式譲渡契約書の作成支援
- ▶代表者変更手続登記申請等に係る司法書士の紹介
- ▶買主の資金調達先となる金融機関の紹介